CARRY ME

SNS運用の代行を頼む前に企業が考えるべきポイント

内製化との比較・代行先の選び方を解説

SNS

目次

1 はじめに

2 SNS運用とは？SNSの種類と特徴

3 SNS運用の主な流れ

4 SNS運用は内製化すべき？代行依頼すべき？

5 SNS運用の代行先：代行会社と業務委託のプロの比較

6 代行会社にSNS運用を依頼するメリット・デメリット

7 個人のプロにSNS運用を依頼するメリット・デメリット

8 SNS運用の代行先を選ぶ際のチェックポイント

自社に最適なSNS運用方法とは？代行依頼も選択肢

企業のマーケティングにおいて、SNS運用の重要性が日増しに高まる中、「リソースがない」「効果的な運用方法がわからない」などのお悩みをよく耳にします。

SNS運用の成功の鍵は、運用方法の見極めです。社内状況や運用目的に応じて、内製化するだけでなくプロへの代行依頼を検討する必要があります。

自社に最適な運用方法とは何か、代行先はどのように選ぶべきなのか、ポイントを解説します。

SNS運用とは？SNSの種類と特徴

SNS運用とは、さまざまなSNS媒体を通じて情報発信することで、企業や商品・サービスの認知獲得、集客、ブランディングなどを実現するマーケティング施策です。媒体によってユーザー層や特性が異なり、企業の業種や商品・サービスに合わせたアプローチが求められます。

SNS別のユーザー・媒体の特徴

	ユーザー・媒体の特徴	拡散力
Facebook	40～50代が中心。経営者同志の交流、コミュニティ作りに活用されていることが多い。	低
Instagram	女性が中心。特に学習意欲が高い女性が利用。コアなファンがつきやすい傾向にありブランディングに有効。	中
Twitter	幅広い世代が利用。情報の伝播が速く、話題をバスらせやすい。拡散力が高いがゆえに炎上しやすい傾向も。	高
YouTube	TV離れが進み、幅広い層が利用。飲食、美容などビジュアルで訴えブランディングや集客を強化したい業種で広く活用。	高
TikTok	近年若い世代を中心に利用が拡大。拡散力が高く、アカウントを成長させやすい。YouTubeへの誘引としても活用されている。	高

SNS運用の主な流れ

SNS運用の主な業務例は右記の通りです。業務内容の中でも①、②は意外とおろそかになりがちな工程です。プロフィールやアイコンなどのアカウント設定、CTA等が確認できる分析ツールの導入は必須です。このほかにも広告運用の業務を並行して行うケースもあり、業務内容は多岐に渡ります。

SNS 運用の具体的な業務

1. **各 SNS 媒体の運用状況調査・現状課題の洗い出し**
   投稿内容・CTA などを細かく確認
2. **（必要な場合）分析ツールのセットアップ**
   Google アナリティクスなどの設定
3. **戦略設計・競合リサーチ・KPI 設定**
   クリエイティブイメージのすり合わせも行う
4. **クリエイティブ制作、投稿**
   すり合わせたイメージに合わせて投稿
5. **運用状況の分析、PDCA を回す**
   分析し、より効果の高い投稿を行う

SNS運用は内製化すべき？代行を依頼すべき？

内製化はスピード感のある運用やブランディングを重視した運用に向いています。自社の魅力をよく知る社員が対応し、投稿の依頼から決済まで社内で完結できるからです。しかし、ユーザー視点を持ちにくいデメリットがあります。

内製化のリソースがなく社員の負荷を軽減する必要があれば、代行を依頼するのがおすすめです。運用の手間を省きながら、最新の潮流に合わせたSNS運用が可能です。一方で、代行を依頼する際は、代行先との丁寧な連携が求められることも覚えておきましょう。

SNS 運用：内製化・代行の違い

	内製化	代行
メリット	・運用をスピーディーに進められる ・自社らしさを打ち出しやすい	・運用の手間が省ける ・最新の潮流に合わせて運用できる
デメリット	・客観的な視点で運用できない	・代行先との連携がうまくいかないと失敗しやすい

SNS運用の代行先：代行会社と業務委託のプロの比較

SNS運用の代行を依頼するなら、SNS運用の代行会社に依頼する、またはフリーランスのSNSマーケターなどと業務委託契約を結びます。それぞれ業務の進め方が異なるため、メリット・デメリットをふまえて代行先を選択しましょう。

SNS 運用の代行先：代行会社・業務委託のプロの違い

	代行会社	SNS のプロ人材（業務委託）
メリット	・「バズる」投稿ができる ・手厚いチーム体制で SNS 運用を進めてもらえる	・「二人三脚」で SNS 運用をサポートしてもらえる ・コストを抑えられる
デメリット	・担当者間の調整に時間をとられやすく、スキルレベルも未知数	・複数の SNS を一度に運用できるプロは少ない

代行会社にSNS運用を依頼するメリット・デメリット

メリット①

「バズる」投稿ができる

代行会社は、SNSの最新の傾向や、過去の顧客データをもとに、フォロワー数を増やすノウハウや投稿を拡散する法則を確立しています。
アカウントの閲覧数や認知度アップを最優先したい場合は代行会社を活用するといいでしょう。

メリット②

手厚いチーム体制でSNS運用を進めてもらえる

代行会社は、依頼された運用業務を細分化し、チームで運用するケースがほとんどです。フローごとに専門の担当者を置き、10人前後が関わることが多いようです。
社員数人で内製化するよりも、手厚い体制でSNS運用を進めることができます。

デメリット

担当者間の調整に時間をとられやすく、スキルレベルも未知数

代行会社は担当者間の調整が多く、運用スピードは遅めです。
依頼したい内容がうまく伝わらず修正のラリーを繰り返すことも。
代行会社によっては、SNS運用の未経験者を参画させていることもあります。

個人のプロにSNS運用を依頼するメリット・デメリット

メリット①

「二人三脚」で運用をサポート

個人のプロは、企業対企業よりも密な関係性を作りやすく、細やかな対応が得意です。
SNS運用を行うにあたり何から手をつけたらいいのかわからない場合や、内製化と同じくらいのスピード感で運用を進めたい場合は、個人のプロに代行を依頼するといいでしょう。

メリット②

コストを抑えられる

代行会社は業務内容の範囲が広くなるほど費用が増えます。たとえば「投稿月◯本 10万円」といった契約で始めても、実際に運用を始めると投稿数の追加や、クリエイティブの修正に伴ってオプション料金が上乗せされていきます。一方で、個人のプロは固定報酬での契約が多く、最低限の費用に抑えられる傾向にあります。

デメリット

複数のSNSを一度に運用できるプロは少ない

SNSマーケターは特定の SNSを専門にしているケースが多く、各媒体を横断的に対応できるプロは希少です。複数の SNSを運用したい場合は、複数のプロを集めなくてはならず人材の確保に時間がかかるかもしれません。

SNS運用の代行先を選ぶ際のチェックポイント

SNS運用の代行先を選択する際は、自社に合う代行先を選ぶことが大切です。右記に挙げるポイントをふまえて、安心して業務を任せられるプロを探しましょう。

信頼できる SNS 運用代行を選ぶチェックポイント

SNS 運用の実績は？

- 依頼する SNS の運用実績、フォロワーやエンゲージメントの上昇数（率）
- 企業経営へのインパクト（コンバージョンやブランディングに寄与したのか）

Web マーケティングのスキル・実績

- コピーライティング
- デザイン（バナー制作）
- Google アナリティクス
- SEO
- LPO

など、自社課題に即した SNS 運用を行えるマーケティングスキルや実績があるか確認

SNS運用を依頼できるマーケターなら キャリーミーへご相談を

SNS運用の代行先選びに迷った場合は、キャリーミーの無料相談もご利用ください。
キャリーミーなら、Twitter、Instagram、YouTubeなど、各種SNSの運用実績を持つプロが多数登録しています。中途採用では採用できない、複数の SNS媒体に対応可能なプロもご紹介可能です。今すぐ人材をお探しになりたい担当者様は、お気軽にご相談ください。

無料相談ならこちら